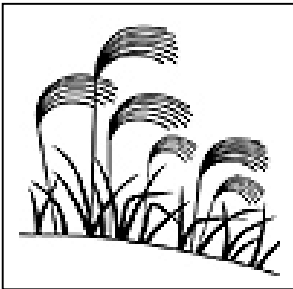


ジャンボ!とは、スワヒリ語で「こんにちは」の意味。転じて、この「出会い」を楽しむ関係=ネットワークづくりのココロイキとして、名づけました。



発行：もっともっと環境塾 2000
 編集：ジャンボ環境塾
 住所：〒460-0008 名古屋市中区栄1-23-13 伏見ライフプラザ12F
 なごやボランティア・NPOセンター 気付 メールボックス NO.4
 URL:<http://www.geocities.jp/mottomottokan2000/>
 E-Mail: motto2_2000@hotmail.com
 メーリングリスト: motto-2@yahoogroups.jp

朝晩は、いくぶんしのぎやすくなってまいりました。しかし、日中はまだまだ暑いですが、いかがお過ごしでしょうか。2008年6月1日(日)、「もっともっと環境塾2000」の総会が無事、終了しました。昨年度の活動を振り返り、今後の活動を考えるよい機会となりました。

会員の活動参加者数や会員数の減少の課題を抱えている「もっと2」です。そんな中、新たなプログラムとして「エコかるた」を作成し、幼・保育園を中心に実施し始めています。そして、絵本「カンちゃん」製本化作業も少しずつですが進んでいます。

まあ、ワイワイ・ボレボレ進んでいくのが「もっと2」らしさでしょう。これからもご参加・ご支援よろしくをお願いします。

活動実績 2008年6月～

- 2008/8/8(金)・・・「カンちゃんのダメダメ日記」 下水道科学館 夏まつり
- 2008/7/27(日)・・・7月 定例会
- 2008/6/21(土)・・・6月 定例会
- 2008/6/10(火)・・・「カンちゃんのダメダメ日記」 中村区ほのか小
- 2008/6/1(日)・・・「カンちゃんのダメダメ日記」 なごや水フェスタ
千種区鍋屋上野浄水場
- 2008/6/1(日)・・・2008年総会



2008年 総会
(6月1日 なごやボランティア・NPOセンター集会室)



絵本「カンちゃん」製本化作業

2008年 総会 6月1日(日)

なごやボランティア・NPOセンター 集会室
参加者: 会員7名

2008年の総会が、伏見ライフプラザ12階のなごやボランティア・NPOセンターの集会室で開催され、予定された議題が承認されました。

今回、応援団員にT.M氏(生物多様性企画室長)が新たに加わりました。M氏は元主幹としてエコパルでお世話になった方で、今年度異動されました。

総会の話題は、絵本「カンちゃん」製本化についてでした。そして、Iさんのドイツ報告。これらについては、このジャンボと議事録をご覧ください。

「生物多様性条約」については、皆様方が希望すれば多様な情報があちらこちらで入手可能です。そこで私は実際ドイツに行ってみ聞きした事なるべく(というのは、私はドイツ語はもとより英語もほとんど分かりませんので、間違った理解をしている場合もあるからです。実際ブログに書いたことが間違っていると指摘を受けて初めて知った事があります)正確に写真つきで書くことにします。

まず、どのようにして国連の国際条約国会議に参加できたのかという話ですが、生物多様性条約締結国会議の事務局がカナダにあります。事務局長のジョグラフ氏あてに参加申込書をメールで送ります。申込書には所属する団体の長のサインが必須です。私は「中部の環境を考える会」で行きましたが、ドイツで一緒に行動した弁護士さんは愛知弁護士会として参加されました。メールした1週間後くらいに受理のメールが事務局から届きます。後はボンの会場(マルチムホテル)へ行ってパスポートを見せて正式に受理されます。直ぐその場で顔写真を撮られ写真のような首から吊るす証明書(パス)をくれます。このパスをつけているとCOP9の間中はボンとケルン周辺の公共交通機関は全部無料となりました。COP9の入場チェックは、まずホテルの入り口では空港でくぐる金属探知機の門をくぐります。そして会議室の並んでいる前でパスのバーコードをチェックされます。バーコードから映像に出る顔写真と同じ人物なら通れます。

本会議の場面は幾つもありますのでここでは書きません。私がまずビックリしたボン市内の市立公園の自然観察会に参加したときです。COP9ではエクスカージョンとして本会議が休みの土日を中心にたくさんの小旅行や観察会が用意されています。参加者はその中の気に入ったものに無料で参加できるのです。ボン市の公園内には植物や動物はそれなりに居るとは思いましたが公園内を馬に乗った人が散歩をしていたのです。それも、もう一頭の裸馬を連れて。参加者の若い男性が裸馬に乗せてもらい上機嫌でした。私が驚いたのはボン市内で馬を飼っている人がいるという事です。家畜の糞尿や臭い、ハエ等の人が嫌う虫が集まる等で名古屋市内で私が住んでいる緑区青山では私が越して来た頃(52年)は乳牛が数十頭飼われている牛舎がありました。ところが周りに住宅が増えていくのに比例して苦情が区役所に寄せられるようになり気がつけば牛はいなくなり今は有料老人ホームや住宅に変わっています。ボン市に住む馬に乗った人は大邸宅に住んでいるのかも知れませんが都市で馬を飼うこと自体が驚きでした。

次に驚いたことは私はボンと宿舎のホテルのあるケルン市内との移動に毎日片道一時間半かけて通勤したのですが、緯度が高いドイツでは夜の10時になっても明るいのです。地下鉄通勤で私は都合3回乗り間違いをしました。まず反対方向の電車に乗ってしまったこと。次に人に(日本人ですが)言われてボンの会場ホテルの近くから電車が出ているとの事で信じて乗ったら途中で違う線に入ってしまう相当過ぎてから、おかしいと気づいた事はいいが、どうすればホテルに帰れるのか困ってしまったこと。3回目は慣れてきてボン市で相当飲んで地下鉄に乗ったもののグッスリ眠りこんでしまい車庫に入って運転手に起こされた事です。3回ともドイツの人たちが親切に私に分かるように教えてくれたり、具体的に近くの正しい乗り場に連れて行ってくれました。治安もよく3回目の失敗のような事は中国では私も絶対にしないと思います。14日間も地下鉄通勤をしたものですから色々な普段のドイツ人の振る舞いを見てきました。困った人がいれば周りの人がスムーズに助け、助けられた人も「ありがとう」というだけで後は何も無かったようでした。やはり先進国とは、こういう成熟社会の事で日本は本当の先進国には至っていないという理解に至りました。(写真は、車庫に入った地下鉄車両の中です。運転手に起こされた後撮ったもので、意外にも冷静な自分にも驚きましたが…)



パス



馬



地下鉄車両内

市長と副市長(Yさんは「もっと2」の応援団の一人です)がホテルにきた時の写真もあります。知事の方がお供は多かったように記憶していますが舞台に出て喋るのは市長の方でした。市長は「東山の森に里山と棚田を復元する」と大見得を切られましたが誰が維持管理していくのか？実際チョット心配です。

後はCOP9の中心課題は「農業の多様性: バイオエタノールが大議論になっていたようです」「自然保全区域の設定: 特に公海上の区域をどうするのか議論になっていたような気がします」一番の目玉がABS条約(access benefit sharing)「遺伝子多様性保全: 遺伝子を利用して利益が出た場合それを遺伝子が存在した地域または個人にも平等に分配するという条約」で、これに米国は反対して、今や国連加盟国で唯一CBD(生物多様性条約)に加盟していない世界から孤立した国となっています。途上国はABSには罰則規定が無いので罰則を入れると主張しているようです。このような問題はすべてCOP10に決議が持ち越しとなっています。

COP10では以上のような各国の国益と国益がぶつかる厳しいかつ解決困難な課題を持った国際会議となります。またセキュリティやエクスクーションなど大変な資金も必要です。国は、金は払わんと言っていますので県と市が払うのでしょうか？大切な会議ですので多少の税金の出費は覚悟すべきなのでしょう。

さて最後に私の個人的興味でケルンの植物園に行ってきました。記憶に鮮明に残っているのは、やはり本で読んだことは嘘ではないという事実を確認できたことです。それは日本の椿(ツバキ)が大切に管理され展示されていたことです。ツバキ属を camellia といいますが「カメリア何がし」と名札のあったツバキがたくさんありました。寒い欧州では常陽樹で花が大きなツバキは昔から珍重されていたそうです。



市長と副市長



椿

* 1さんのブログも覗いてみてください。くすり屋さんの独り言 URL:<http://blog.goo.ne.jp/ta43447/>



ドイツ
記録写真



漫画の本



エコかるた

う ~ こ の札です。
あ と い は、前号までを参照。



うれしいな
すっきりしている
れいぞうこ



エコクーびょん
あつめてことわる
レジぶくろ



おなじあかるさで
つかえるよ
でんきゅうがたけいこうとう



かみ・かん・ピンを
たいせつに！！



きちんと
わけよう
ごみのぶんべつ



くるまはやめて
おでかけは あるいて
じてんしゃ バス でんしゃ



けいさんしてみよう
おうちからでる
CO2



こまめにとめて
やめようシャワーの
だしっぱなし。

お知らせ掲示板
 ・環境デーなごや 9月7日(日) 久屋大通公園
 ・9月定例会 9月21日(日)なごやボランティア・NPO センター フリースペース 13:30～15:30
 * 詳細は、Aまでお願いします。

編集後記
 「カンちゃん」の実施が減っていて、「エコかるた」の実施が増えている昨年度でした。さて、今年度はどうなるでしょうか。
 「なごや環境塾の会」(K)の運営委員8名のうち、5名が「もっと2」会員となっています。Kの活動に没頭せざる得ない状況ですが、ポレポレやっています。
 ところで、今回は1さんの長編大作の原稿で特集となりました。中国・韓国かと思えば、ドイツ。その行動力は驚き！！です。少しは見習おう？
 (BY ドクダー)

